

2020年11月5日

報道関係者各位

**休眠預金等活用制度「地域活性化ソーシャルビジネス成長支援事業」実行団体採択  
シェアビレッジ株式会社へ助成金 3,000 万円と社会的インパクト評価等の経営支援を提供**

一般財団法人社会変革推進財団（理事長：大野修一、所在地：東京都港区、以下、「SIIF」）は、休眠預金等活用法※1に基づく「地域活性化ソーシャルビジネス成長支援事業」における資金分配団体として、シェアビレッジ株式会社(所在地：秋田県五城目町、代表者：丑田俊輔、以下「シェアビレッジ」)を実行団体として採択しました。

シェアビレッジは、地元秋田県の古民家を舞台に都会と田舎のシェアを生み出した「新しい村的コミュニティ」の運営で培ったノウハウをもとに、「協同組合型株式会社」として新法人としてスタートしました。新法人では、地域の様々な遊休資産を地域の共有資産（コモンズ）として再活用することを起点とした、新しいコミュニティの立ち上げや運営を支援するプラットフォームを構築していきます。このプラットフォームでは、遊休資産の再活用や地域内外の人々がコミュニティに参加する機会を創出することで、これらの関係人口が地域との関わりを深めていく等の社会的インパクトの創出を目指します。

採択されたシェアビレッジに対し、SIIF は助成金 3,000 万円の財務支援を行うほか、社会的インパクト評価※2等の経営支援を提供していきます。

全国で採択された全 6 団体の実行団体の事業概要及び助成金額は以下の通りです。

※1 民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律（平成 28 年法律第 101 号）

※2 事業や活動の結果として生じた、社会的・環境的な変化や効果（アウトカム）を短期・長期を問わず、定量的・定性的に把握し、事業や活動について価値判断を加えること。

**【 2019 年度休眠預金等活用制度における採択された実行団体 】**

\*シェアビレッジ社以下都道府県順

**◆ シェアビレッジ株式会社(秋田県) 助成金額：3,000 万円**

<事業概要>

秋田県五城目町で数年に亘り実施し、成果を上げたコミュニティ形成・関係人口構築の知見を全国に広めるべく、各地に多様で自律分散型のコミュニティの立ち上げと運営を支援するプラ

【お問い合わせ先】 SIIF PR 担当 山本 070 7514 7634 / 03-6229-2622

e-mail: yamamoto.shiho@siif.or.jp

ットフォーム「Share Village」を開発。協同組合型で構築するプラットフォームは、①遊休資産を活用した「村」の立ち上げ・及び「村」の会員募集、②会費の徴収・決済、③コミュニティ運営・姉妹村提携、④コミュニティコイン・コミュニティウォレット、等のインフラと、共創型コミュニティづくりの各種支援や社会実験を担います。本事業では、五城目町においてプラットフォームを利用して新たに立ち上がる里山、空き家・空き地、遊休施設等を活かした複数のコミュニティの運営を通して、地域外からの関係人口の流入や交流への寄与を実証します。

<代表者コメント> 代表取締役 丑田俊輔

世界中がつながる大きな社会の片隅で、皆で持ち寄って育む“村”のようなコミュニティがふつふつと生まれ始めています。だれもが自分たちのコミュニティをつくることができる。様々なコミュニティに参加する。コミュニティ同士がつながり、小さな経済圏が共鳴する。そんな新しい生活様式をあたりまえにしていきます。新たな村々から湧き上がっていく社会への問いかけとインパクトに、誰よりも私たち自身がワクワクしながら進んでいきたいと思っています。

◆ 株式会社 sonraku (北海道) 助成金額：5,485 万円

<事業概要>

地域の森林資源を有効に活用する自立・分散型エネルギー設備の導入を通じ、日々の生活に必要な電力と熱エネルギーを地域に安定供給し、森林資源の地域内好循環を生み出す。

◆ 株式会社ポケットマルシェ (岩手県) 助成金額：3,000 万円

<事業概要>

一次産業産品にかかる CtoC の産直プラットフォーム運営。そのノウハウ等を活用し、一次産業産品のオンライン購買を契機とした、地方の生産現場と都市部消費者との関係強化プロセス（いわゆる「関係人口」の創出プロセス）、およびその評価指標の明確化を行う。

◆ 株式会社 Ridilover (新潟県) 助成金額：3,000 万円

<事業概要>

新潟県越後妻有で 20 年続く「大地の芸術祭」や、田園風景、里山暮らしの文化などの地域資源を活用した関係人口の創出・拡大と、それを通じた継続的かつ複線的なキャッシュポイントの創出により、地方における多様なライフスタイルと経済的な自立安定を両立する地域エコシステム構築を目指す。

◆ 株式会社御祓川(石川県) 助成金額：3,294 万円

<事業概要>

奥能登地域の企業を選抜し、様々な実験的取り組みにチャレンジできるアクセラレーション・プログラム「ローカルビジネスラボ～TANOMOSHI」の設立・運営。助成期間終了後地元金融機関興能信用金庫が創業・中間支援的な役割を担い、地域で自律的に運営される仕組みの構築を目指します。

◆ Renovater 株式会社（京都府） 助成金額：3,000 万円

<事業概要>

空き家等の築古物件を買取り、必要なリフォームを行って、住宅確保困難者に安い賃料で良質な住居を提供。住宅確保困難者問題の民間解決を図る。また、必要に応じ地域の NPO 法人等とも連携しつつ入居者へのきめ細かい支援を提供し、入居者自身の人生好転の仕組みの創出を目指す。さらに、近隣住民との良好な関係構築に向け、地域コミュニティ形成にかかる事業も行う。

【 休眠預金等活用制度の体制図 】



社会変革推進財団（SIIF）について [www.siif.or.jp](http://www.siif.or.jp)

社会課題解決と多様な価値創造が自律的・持続的に起こる社会を目指し、自助・公助・共助の枠組みを超えた社会的・経済的資源循環のエコシステムの実現を目指しています。ソーシャル・インパクト・ボンドをはじめとするインパクト投資のモデル開発や実践、普及のための環境整備、調査研究・政策提言に取り組んでいます。